

県内経済動向調査結果（平成22年12月分）

平成23年 2月10日
企業活性化・雇用緊急対策本部
（産業政策課）

概 況

県内経済は、総じて厳しい状況の中で、製造業を中心に持ち直しの動きを続けてきたが、改善の動きに一服感が見受けられる。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きを続けてきたが、改善の動きに一服感が見受けられる。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比6.1%増、同6.0%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲31.0から▲13.3となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比21.7%減、同5.3%減となった。3カ月先の業況見通しDIは▲56.3から▲37.5となった。
小 売 業	家電の売れ行きが大幅に減少した。 売上高は前年同月比2.5%増、3カ月先の業況見通しDIは▲57.1から▲44.8となった。
サービス業	運輸業が引き続き好調である。 売上高は前年同月比1.4%増、3カ月先の業況見通しDIは▲39.3から0.0となった。

製造業の動向

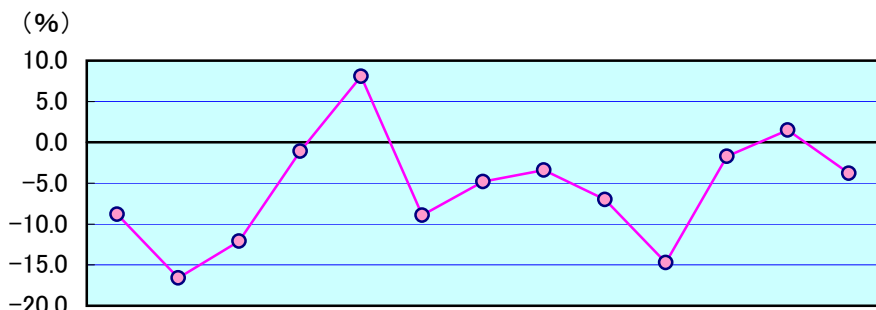
1 食料品

弱めの動きとなっている

生産額は前年同月比3.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲33.3から▲28.6となった。

一部の酒類製造業において、県内の販売数量が落ち込むなど厳しい状況となっている。また、調味料製造業や惣菜製造業でも受注が落ち込んでおり、全体としても弱めの動きが続いている。

食料品生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食料品	-8.8	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7	-1.7	1.5	-3.8

2 繊維・衣服

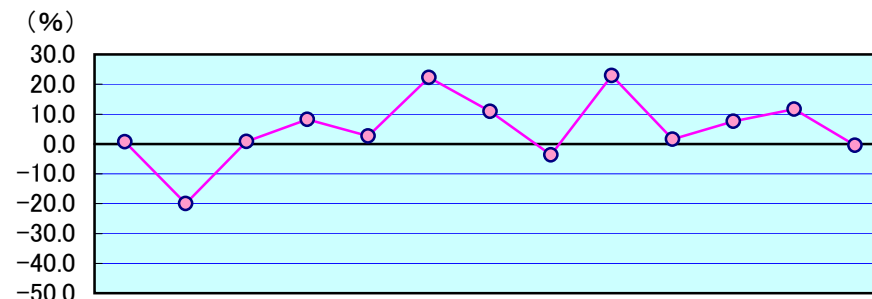
弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比0.5%減、同6.5%増。3カ月先の業況見通しDIは66.7から33.3となった。

一部企業において、中国工場の縮小に伴い生産の一部が国内にシフトされ、生産額が増加している。

しかし、依然として一昨年水準には達しておらず、引き続き弱めの動きとなっている。

繊維・衣服生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
繊維・衣服	0.7	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6	7.6	11.7	-0.5

3 木材・木製品

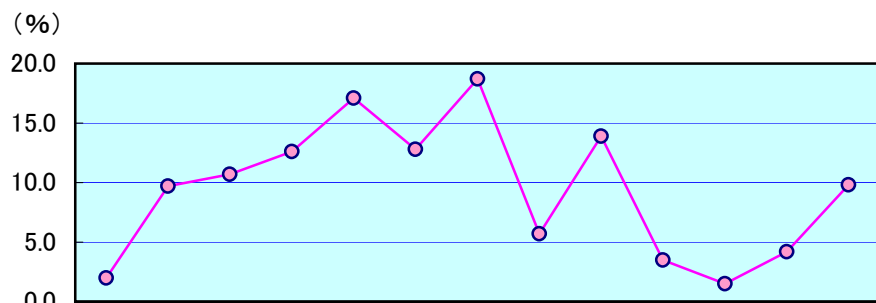
やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比9.8%増、同8.6%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲8.3となった。

合板において、一部企業で販売単価が値上がりしたことから、全体の生産額が前年同月を上回っている。

なお、県内の新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年同月を上回ったものの依然として低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

木材・木製品生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	12月	1月											
木材・木製品	2.0	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5	1.5	4.2	9.8

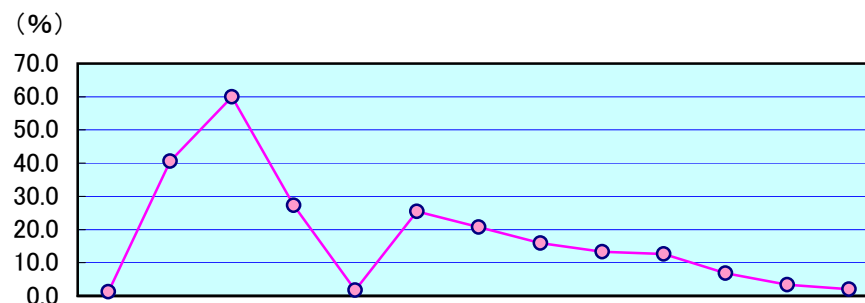
4 鉄鋼・金属製品

弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比2.0%増、同11.9%増。3カ月先の業況見通しDIは10.0から20.0となった。

産業設備関連の一部企業で受注件数が減少しているものの、機械関連や鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しており、全体の生産額は前年同月を上回っている状況が続いている。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年	22年	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	12月	1月											
鉄鋼・金属	1.3	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6	6.8	3.4	2.0

5 一般機械

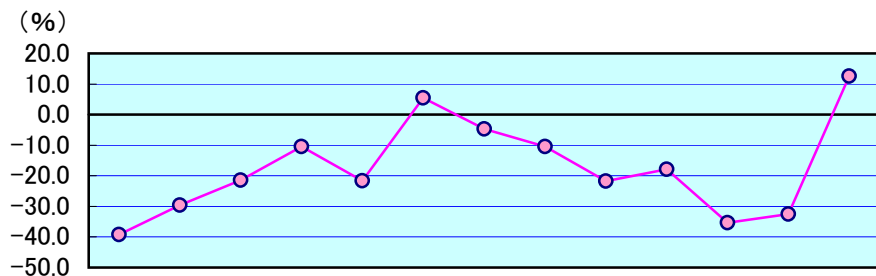
弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比12.6%増、同13.0%減。3カ月先の業況見通しDIは▲62.5から0.0となった。

一部企業で前年実績が悪かった為、生産額が大幅増となっており、全体としても前年同月を上回ったものの、産業機械設備や工作機械などで受注動向が思わしくなく、弱めの動きが続いている。

しかし、一部で明るい兆しも見られ、3カ月先の見通しに期待感が伺える。

一般機械生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年	22年
12月	-39.2	-29.6
1月	-29.6	-21.4
2月	-21.4	-10.5
3月	-10.5	-21.6
4月	-21.6	5.5
5月	5.5	-4.7
6月	-4.7	-10.4
7月	-10.4	-21.8
8月	-21.8	-17.9
9月	-17.9	-35.3
10月	-35.3	-32.5
11月	-32.5	12.6
12月	12.6	

6 電気機械

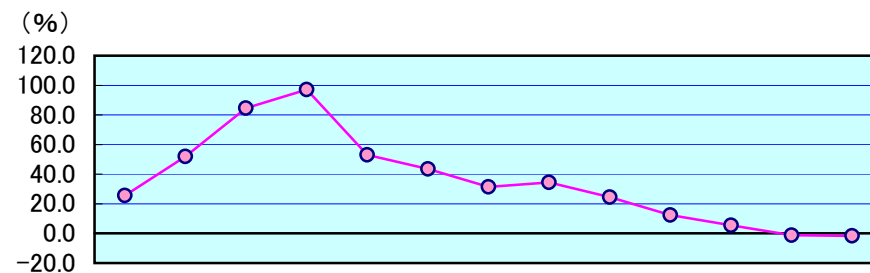
横ばいとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比1.6%減、同2.9%減。3カ月先の業況見通しDIは▲63.2から▲21.1となった。

一部企業で、海外製品へのシフトにより受注が減少しており、生産額は前年同月を下回る状況が続いている。

また、4月以降の生産額の推移についても低調な状況が続いている。

電気機械生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年	22年
12月	25.6	52.0
1月	52.0	84.5
2月	84.5	97.2
3月	97.2	53.1
4月	53.1	43.6
5月	43.6	31.4
6月	31.4	34.4
7月	34.4	24.5
8月	24.5	12.4
9月	12.4	5.5
10月	5.5	-1.2
11月	-1.2	-1.6
12月	-1.6	

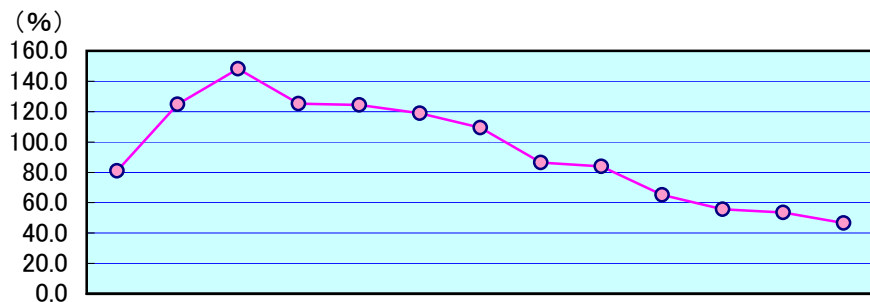
7 輸送機械

回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比46.6%増、同55.4%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0と横ばいであった。

一部企業で、国の補助事業終了に伴う生産量の減少がみられるなど、国内需要は低調となっているものの、海外需要は堅調となっており、全体の生産額は底堅く推移している。

輸送機械生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸送機械	80.9	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1	55.6	53.6	46.6

8 精密機械

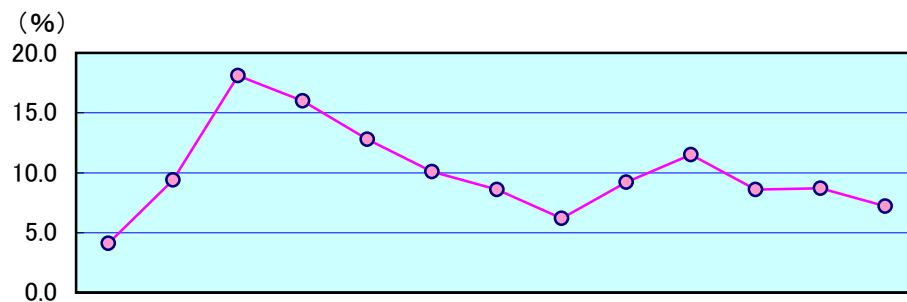
回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比7.2%増、同1.1%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から▲37.5となった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品、医療関連商品など、総じて生産額が増加している。

なお、一部企業では、対応できないほどの受注を抱えるなど、好調さが伺える。

精密機械生産額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
精密機械	4.1	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5	8.6	8.7	7.2

建設業の動向

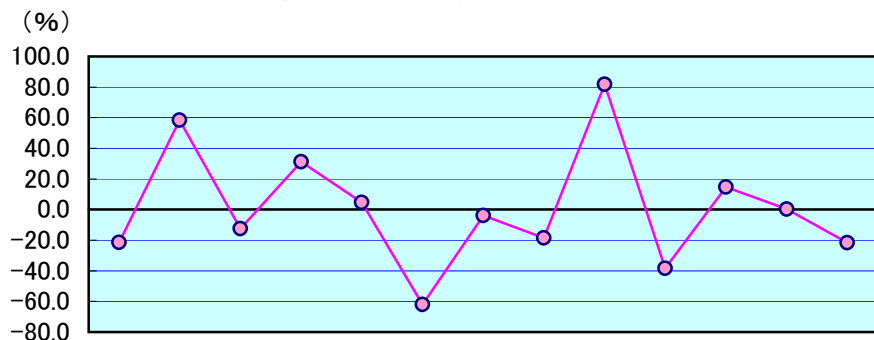
建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比21.7%減、同5.3%減。3カ月先の業況見通しDIは▲56.3から▲37.5となった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に下回るなど、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年	22年
	12月	1月
	2月	3月
	4月	5月
	6月	7月
	8月	9月
	10月	11月
	12月	12月
建設業	-21.5	58.5
	-12.5	31.3
	4.7	-62.0
	-3.8	-18.5
	81.9	-38.5
	14.8	0.3
	-21.7	

小売業の動向

1 衣料品

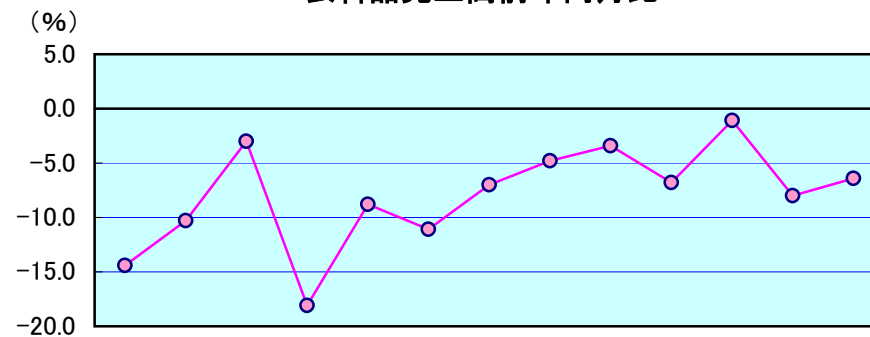
弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比6.4%減。3カ月先の業況見通しDIは▲100.0から▲80.0となった。

全ての調査対象企業において、売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

また、3カ月先の業況見通しも明るさは見られず、今後の動向が懸念される。

衣料品売上高前年同月比



21年 22年
12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年	22年
	12月	1月
	2月	3月
	4月	5月
	6月	7月
	8月	9月
	10月	11月
	12月	12月
衣料品	-14.4	-10.3
	-3.0	-18.1
	-8.8	-11.1
	-7.0	-4.8
	-3.4	-6.8
	-1.1	-8.0
	-6.4	

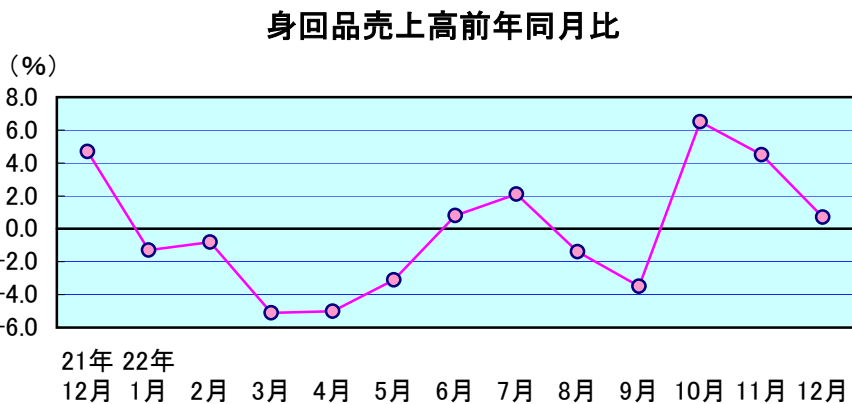
2 身回品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比0.7%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲28.6となった。

一部企業で季節商品の売れ行きが好調なことから売上額が前年同月を上回っており、全体としても前年同月を上回っている。

しかし、依然として厳しい状況は続いており、弱含みとなっている。



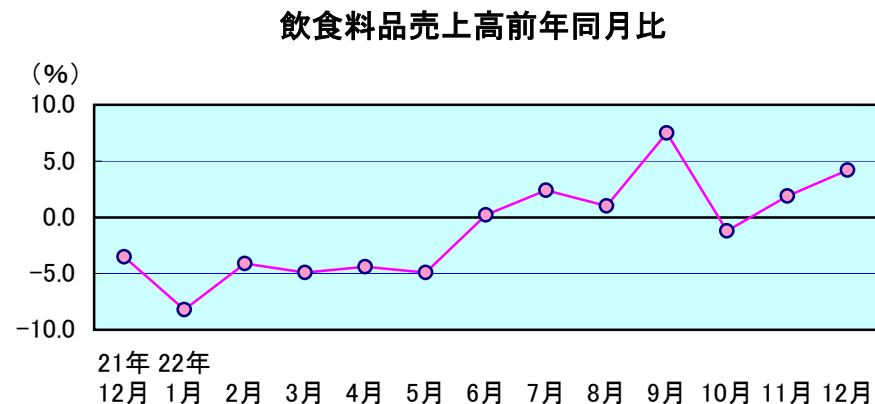
	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
身回品	4.7	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5	6.5	4.5	0.7

3 飲食料品

横ばいとなっている

売上高は前年同月比4.2%増。3カ月先の業況見通しDIは▲38.5から▲30.8となった。

客単価の低下が見受けられるものの、コンビニや一部スーパーにおいて、年末商品の売れ行きが好調なことから、売上額は前年同月を上回った。



	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
飲食料品	-3.5	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5	-1.2	1.9	4.2

サービス業の動向

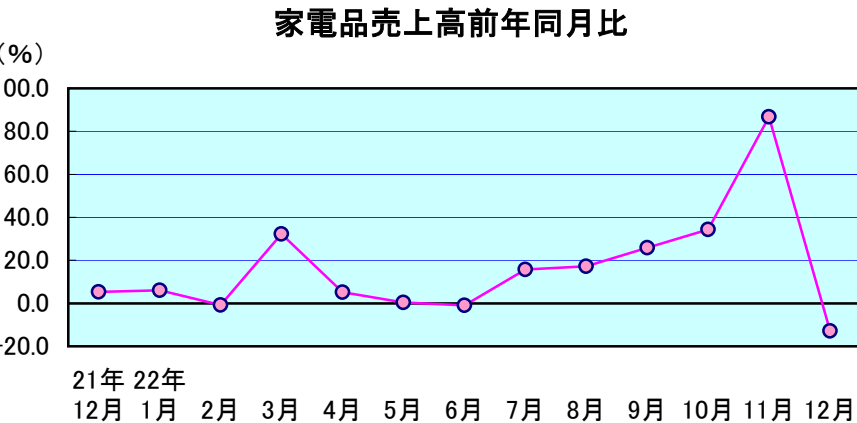
4 家電品

エコポイント対象商品の売れ行きが大幅に減少した

売上高は前年同月比12.9%減。3カ月先の業況見通しD Iは▲75.0と横ばいであった。

家電エコポイント制度変更（12月1日～）前の駆け込み需要の反動から、薄型テレビなどのエコポイント対象商品の売れ行きが落ち込み、売上額は前年同月を大幅に下回った。

なお、今後さらに家電エコポイント制度が縮小されることから、先行きの見通しが懸念される。



	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
家電品	5.3	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9	34.3	86.8	-12.9

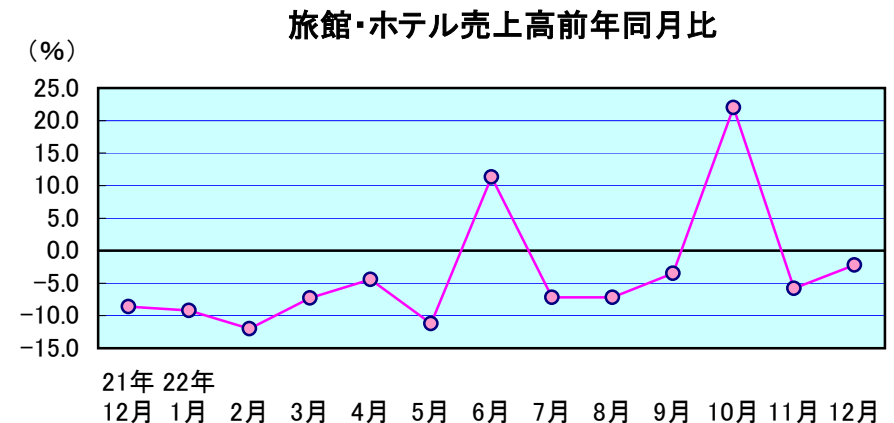
1 旅館・ホテル

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月2.2%減。3カ月先の業況見通しD Iは▲46.7から▲20.0となった。

婚礼部門で単価の減少が見受けられ、売上額が落ち込んだことから、全体として前年同月を下回っている。

総じて見れば、弱めの動きとなっている。



	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
旅館・ホテル	-8.6	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5	22.0	-5.8	-2.2

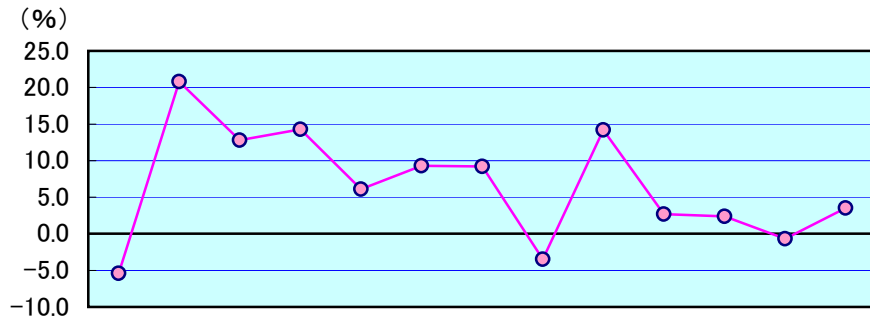
2 その他サービス

横ばいとなっている

売上高は前年同月比3.5%増。3カ月先の業況見通しDIは▲30.8から23.1となった。

コンピュータ関連で受注の減少が見受けられるものの、一部運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持していることから、全体として売上額は前年同月を上回った。

その他サービス業売上高前年同月比



21年 22年

12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

	21年 12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その他サービス	-5.4	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	2.4	-0.7	3.5